



コミュニティ活動 かわら版

町内にあるさまざまなコミュニティの活動や情報、イベントなどをご紹介します。

「鳥獣害対策の第1歩」 ～生態を知ろう：イノシシ～

富士見町有害鳥獣対策協議会(産業課 農林保全係) ☎62-9222

「イノシシ」は、映画『もののけ姫』や干支(十二支)にも登場し、文化的にも人間に馴染み深い動物ですが、その生態はあまり知られていません。町では、重点的な捕獲によってイノシシの出没自体は少なくなりましたが、いまだに被害ゼロには至っていません。農作物への被害や不慮の遭遇による人身被害を防ぐためにも、まずは相手のことをよく知り、対策を立てましょう。

- 食性：**雑食性で、イモ、タケノコ、イネ、カエルや昆虫など、動植物問わずなんでも食べる。
- 生態：**昼夜を問わず活動する。助走なしで1mジャンプできると言われ、トップスピードは時速40km以上と。
- 出産：**繁殖能力が高く、2歳から出産でき、年1回の出産で4～5頭の子どもを産む。
- 特徴：**犬並みの鋭い嗅覚を持ち、その鼻で50～70kgの重さを持ち上げたりの動かしこともできる。初めて見るものは何でも『鼻』で探る。
- 被害：**畑を掘り起こす食害。水田に侵入しイネをすべて踏み倒す。



対策 ①トタン柵で目隠しをする

イノシシは鼻が良いためエサの場所はすぐ分かりますが、強い警戒心から、確実にエサがある場所でないと侵入しません。ただし、イノシシは1m近くジャンプをするうえ、少しの隙間も鼻で押し開けようとするため、隙間なく1.2mの高さまでトタンを張るのが効果的です。

②草刈りをして住みかを無くす

イノシシに限らず、動物は基本的に人目につく場所を嫌います。隠れ場所になりやすい林縁部の草刈りはもちろんのこと、耕作をせず遊休農地として放置されている場所でも隠れ場所として利用します。こまめに草刈りをするようにしてください。



▲農林水産省 被害防止マニュアルより

富士見町スポーツ少年団だより

富士見町スポーツ少年団事務局(町民センター内) ☎62-2400

富士見サッカースポーツ少年団

サッカーの好きな1年生から6年生までの団員60人が毎週水曜日と土曜日、町民広場グラウンドで練習をしています。団員それぞれが目標を持って毎回の練習に励んでいます。

春から秋までは諏訪地区のチームとリーグ戦を組んで対戦をしたり、県内の様々な大会に参加したりしています。冬は体育館で練習を行い個人技術の向上に励み、フットサルの大会にも参加しています。

今年はサッカーワールドカップが開催され、子どもたちもテレビで日本代表のがんばりを見ることができました。未来の日本代表を目指し、練習に取り組んでいます。

- 練習日：**水曜日と土曜日
- 時間：**水曜日…午後5時30分から7時まで
土曜日…午後5時から7時まで
- 場所：**町民広場グラウンド
- 団員：**小学1～6年生
- 体験は随時募集しています。ご連絡の上、お越しください。

